

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道55号 あなんどうろ 阿南道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：徳島県 こまつしまし 小松島市大林町森ノ本 至：徳島県 あなんし 阿南市橘町青木				延長	18.4km
事業概要						
一般国道55号は、徳島市を起点に小松島市、阿南市、美波町、室戸市などを經由し、高知市に至る延長約200kmの主要幹線道路であり、四国広域幹線ネットワークを形成する基幹動脈として、四国東南地域の生活や経済、観光の振興に大きな役割を果たしている。 阿南道路は、小松島市大林町を起点とし、阿南市橘町に至る全長18.4kmの国道バイパスであり、小松島市及び阿南市中心部における交通混雑の解消と交通安全の確保を図るとともに、周辺道路網と一体となって、阿南市以南から県都徳島市方面への交通を円滑に導くことを目的としている。						
S48年度事業化		S52年度都市計画決定 (H15年度変更)		S57年度用地着手		S62年度工事着手
全体事業費		約846億円		事業進捗率	72%	供用済延長 17.2km
計画交通量		5,700～15,500 台／日				
費用対効果 分析結果	B／C (事業全体) 1.8 (残事業) 1.2	総費用 (残事業)／(事業全体) 188/1,235億円 (事業費：173/1,136億円 維持管理費：16/100億円)		総便益 (残事業)／(事業全体) 232/2,276億円 (走行時間短縮便益：178/1,958億円 走行経費減少便益：38/255 億円 交通事故減少便益：16/63 億円)		基準年 平成23年
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量：B/C=1.7～2.0 (交通量±10%) (残事業) B/C=1.02～1.5 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.8～1.9 (事業費±10%) B/C=1.1～1.4 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.8～1.9 (事業期間±10%) B/C=1.2～1.3 (事業期間±10%)						
事業の効果等						
阿南道路は四国広域幹線ネットワークの基幹動脈を形成することにより、地域の活性化を支援するとともに都市間の所要時間短縮や救急医療や災害時の代替路形成、県南部の観光支援など重要な役割を担う。						
①円滑なモビリティの確保						
・現道等の年間時間損失の削減が見込まれる ・現道等における混雑時旅行速度20km/h未満である区間の旅行速度が改善される ・所要時間の短縮により路線バスの利便性が向上する ・美波町から徳島阿波おどり空港へのアクセス向上が見込まれる						
②物流効率化の支援						
・美波町から徳島小松島港へのアクセス向上が見込まれる ・県南部における農林水産品（阿波尾鶏、ニンジン、キュウリ、アワビ、伊勢エビ等）の流通の利便性が向上が見込まれる						
③国土・地域ネットワークの構築						
・徳島地方生活圏（徳島市）から南部地方生活圏（阿南市）を最短時間で連絡する路線を構成する ・美波町から日常生活圏中心都市である阿南市へのアクセス向上が見込まれる						
④個性ある地域の形成						
・徳島県LEDバレイ構想を支援する ・観光資源が多くある県南部へのアクセス向上が期待される						
⑤安全で安心できるくらしの確保						
・県南部の三次医療施設カバー圏の拡大が見込まれる						
⑥災害への備え						
・現国道55号は第一次緊急輸送道路に位置づけられている ・現国道55号が通行止になった場合の代替路線を形成する						
⑦地球環境の保全						
・CO2排出量の削減が見込まれる						

⑧生活環境の改善・保全

- ・ NO2排出量の削減が見込まれる
- ・ SPM排出量の削減が見込まれる

⑨他のプロジェクトとの関係

- ・ 阿南道路への交通転換により、現道区間における交通安全性の向上が期待される

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

- ・ 徳島県、阿南市、国道 55 号バイパス建設促進県議会議員協議会等より、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。

徳島県知事の意見

- ・ 「一般国道55号阿南道路」の事業を継続するという「対応方針（原案）」案については、異議ありません。
一般国道55号は、四国広域幹線ネットワークを形成する基幹動脈として、四国東南地域の生活や経済、観光の振興に大きな役割を果たしております。このうち、阿南道路は、小松島市及び阿南市中心部における交通混雑の解消と交通安全の確保を図るとともに、周辺道路網と一体となって、広域的な交通ネットワークを形成する重要な道路であります。
このため、引き続き、事業推進に努めるとともに、残る区間の早期着工をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

- ・ 「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ 平成23年7月 日和佐道路 全線開通
- ・ 平成12年12月 橘湾火力発電所全機運転開始

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・ 昭和48年度に事業化、用地進捗率87%、事業進捗率72%（平成26年3月末時点）
- ・ 平成5年度：阿南市那賀川町中島～阿南市西路見町江川 延長2.1km（2/4）部分開通
- 平成12年度まで：小松島市大林町森ノ本～阿南市那賀川町中島 延長6.9km（4/4）部分開通
- 平成19年度まで：阿南市西路見町江川～阿南市津乃峰町西分 延長6.5km（2/4、4/4）部分開通
- 平成25年度：阿南市津乃峰町西分～阿南市橘町大浦 延長1.7km（2/4）部分開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 平成31年度：阿南市那賀川町中島～阿南市西路見町江川間 延長2.1km（4/4）開通予定

施設の構造や工法の変更等

- ・ 今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・ 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。